

科目区分	教養科目	授業科目名	ヒトと生物				科目コード	26A004	担当者	松尾 公則			担当形態	単独
対象学科・コース	全学科	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	講義	履修条件					教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分						
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連						科目に含めることが必要な事項						

授業の主題	ヒトは地球生態系の中の一員であり、他の動物や植物との連携なしには生きていくことはできません。「ヒトと生物」では、身近な動物を通じて、生態系のことを学びます。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	毎時間、講義の最後にレポートを書かせます。レポートに対してはコメントをつけて返却します。レポートは、点数化し、テストの40%分とします。
授業の方法	毎時間プリントを配布し講義形式で展開していきます。テストは、15回分のプリント持ち込みで実施します。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	蚊とヒトの暮らし	蚊の駆除や防除についてまとめる	第9回	カメとヒトの暮らし	外来種についてまとめる	
第2回	カエルとヒトの暮らし	身近なカエルの生態系での役割についてまとめる	第10回	カタツムリとヒトの暮らし	童謡の意味についてまとめる	
第3回	ネズミとヒトの暮らし	ネズミが原因の伝染病についてまとめる	第11回	ウサギとヒトの暮らし	家畜と野生の動物についてまとめる	
第4回	ダンゴムシとヒトの暮らし	ダンゴムシの生態や遊び方についてまとめる	第12回	ホタルとヒトの暮らし	蛍と自然環境についてまとめる	
第5回	ヘビとヒトの暮らし	毒蛇についてまとめる	第13回	イモリとヤモリとヒトの暮らし	家の近くにすむ動物の人の関係についてまとめる	
第6回	タヌキとキツネとアライグマとヒトの暮らし	身近にいる獣についてまとめる	第14回	危険な動物とヒトの暮らし	身近な危険な動物についてまとめる	
第7回	ネコとヒトの暮らし	ネコが人の生活に果たす役割についてまとめる	第15回	長崎県の天然記念物	郷土の守るべき自然についてまとめる	
第8回	コウモリとヒトの暮らし	家に住むコウモリについてまとめる			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	
						180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	プリントを毎時間配布する。	受講生へのメッセージ	ヒトの暮らしに関わることの多い動物を、生態や文化などいろいろな角度から紹介します。動物に興味のある学生の受講を希望します。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

